

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年11月24日

事業所名 障がい児デイサービスセンター あゆみの里

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0		
	2	職員の配置数は適切である	4	1		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	0		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	2	書面や日々の業務内で確認している。	全職員への周知の徹底が完全ではない為、月々の職員会議で確認をするようにする。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	2		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2		外部評価は出来ていない為、今後検討して行く。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1	法人内や外部の研修参加している。	外部の研修参加ができていない職員は研修報告を受けているが、全員が研修参加できるようにする。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	1		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	2	職員会議の中で中間、終了評価を行い立案の参考になっている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1		児童によっては固定化がいい場合もあるので、個々の状況に応じてプログラムを決める。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	3	2		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	子どもの様子について事前に職員間で共有するようにしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	2	全員が閲覧できるよう記録用紙を準備し、随時記録している。	書面にて注意事項を回覧し、わからないことは確認する。当日に無理な場合は翌日に行う。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	2		基本的には半年で行っているが、状況報告書にて定期的に計画を見直している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	3	2	全員がガイドラインをいつでも閲覧できるようにしている	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	0		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	2	必要に応じて連絡を取り合う。相談員を通じて行うこともある。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2	相談員、学校を通じて連携をとっている。資質の向上を目的に研修に参加している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	3		様々な子どもが利用する中で、必ずしも交流がいいとは言いきれないため、個別対応で参加する方法も検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	3	担当者が出席し、報告を受けている	報告内容により全員周知が必要な場合は、職員会議等で伝える。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0		
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3	児発管が担当	家庭の事情等、全てを共通認識することはないが、対応において保護者が不安を感じる事のないよう、一定の線は揃えた対応を行うようにする
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	1		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	3		全体への会報は発行していないが、個々に応じて対応している。
	35	個人情報に十分注意している	5	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	1		コロナ禍で行っていなかったが、検討していく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1		閲覧できるよう玄関にマニュアル一式を置いている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0		法人全体で、研修の機会を設け実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	2		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	3		対象者なし。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1		

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和5年11月24日

事業所名 障がい児デイサービスセンター あゆみの里 保護者等数(児童数) 13 回収数 9 割合 69 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	0	0	0		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	3	2	1	3		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	0	0	1		
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	9	0	0	0		
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	7	1	0	1		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	1	2	3	子どもにとって落ち着いて過ごせる場なので、変化が多く刺激の多い交流は望まない	開催するのであれば個別対応など交流が負担とならない方法の検討を行う。
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9	0	0	0		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9	0	0	0		
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	1	0	0		
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	0	2	6		
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1	0	3	今のところ苦情がないのでわからない。	窓口や委員会を設置し体制を整えている。保護者の方々と日々のやり取りを深め、ご要望等を伝えやすい場の提供を行う。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8	1	0	0	気持ちを伝えることが難しい子どもなのでわからない。	子どもたちの様子を共通認識できるよう、引き続き保護者との対話の機会を持つ。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	2	1	0	6		
非常時等の対応	14	個人情報に十分注意しているか	9	0	0	0		
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8	1	0	0		
満足度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	1	0	2		
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	5	3	0	1	・少ない利用ですが楽しく行けています。 ・本人の意思がわかりにくい	
	18	事業所の支援に満足しているか	8	1	0	0		

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。